

令和8年5月7日

麻しん（はしか）感染拡大防止に関するお知らせ【第2報】

（5月2日プレスリリースの第2報です。）

令和8年4月26日、埼玉県川口市で発生があった麻しん（はしか）の患者が、感染可能期間に長野市内に滞在していたことが判明しました。

麻しんウイルスは非常に感染力が強いため、注意喚起として、広く情報提供するものです。

1 患者の概要等

川口市の令和8年5月7日付けプレスリリースをご覧ください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/material/files/group/86/mashin20260507.pdf>

2 行動歴

川口市の令和8年5月7日付けプレスリリースのとおり

麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。現時点において当該患者が利用した施設等を利用しても心配ありません。各施設への問い合わせはご遠慮ください。

3 川口市が公表した施設、公共交通機関を利用された皆様へ

麻しん（はしか）の潜伏期間は最大3週間といわれており、症状としては発熱、咳、発疹などがみられます。

4月25日から3週間以内（5月17日頃まで）に、麻しん（はしか）が疑われる症状が出た場合、必ず事前に医療機関に連絡の上、速やかに受診してください。また、受診の際は、周囲の方への感染を広げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

心配なこと等がありましたら、最寄りの保健所にご連絡ください。

4 注意点

- ・海外渡航歴がない方も、国内で麻しん患者と接触することで感染します。
- ・麻しんは非常に感染力が強く、麻しんに免疫がない方が感染するとほぼ100%発症します。
- ・麻しんは、発症する1日前から感染性があるため、麻しんに免疫のない方は公共の場所等で気づかないうちに麻しんに感染している可能性があります。

5 予防のために

- ・麻しんの効果的な予防方法は、ワクチンの接種です。
- ・母子健康手帳などを確認し、罹患歴や麻しんワクチンの接種歴を確認しましょう。予防接種法による定期予防接種の対象者（1歳児と小学校就学前1年間）や、接種が確認できない方は、ワクチン接種を検討しましょう。

長野市保健所健康課（課長）小松 繁之（担当）今井 宏恵

TEL：026-226-9964

FAX：026-226-9982

E-mail：h-kenkou@city.nagano.lg.jp